

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	041 職員の労働安全衛生事務					
予算科目	01-020102-14	ワークライフバランス推進に要する経	担当部課	総務部ワークライフバランス推進課		
市長公約			係名			
戦略プラン			新規・継続	継続		
			事業分類	自治事務（義務）		
			事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市職員の心の健康づくり計画		事業期間	毎年度		
根拠法令等	労働安全衛生法、地方公務員災害補償法、労働者災害補償法保険法、つくば市職員安全衛生管理規則		SDGs			

## 事業の概要

対象	職員
目的	職員の健康管理と心の健康作りを保持推進する。
概要 (取組内容)	産業医面談、心の健康相談の実施 労働安全衛生法に定められた職員健康診断の実施 ストレスチェックの実施 衛生委員会の開催や職場巡視の実施

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	16,792	17,584	17,584	17,584	
	決算額	(千円)	14,579	12,990	17,955	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	14,579	12,990	17,955	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	24,027	24,070	24,210	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.50	3.50	3.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	116.00	110.00	120.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

## 指標の推移

1	指標名	健康診断・人間ドックの受診率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	96.4	98.2	98.3	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	労働時間把握のため、管理職員についても、月に45時間を超えて時間外勤務を実施した場合の報告書を提出させることとした。 月80時間を超えて時間外勤務を実施した管理職員を把握し、産業医との面談を適切に実施した。	
成果	産業医面談 472件 心の健康相談 62件 健康診断等受診率 98.3% ストレスチェック受検率 87.3%	
課題	業務	心の健康保持増進の一環として「心の健康相談」を実施しており、庁内情報システムの掲示板にて定期的に周知しているが、庁内情報システムを見る機会の少ない部署の職員には情報が伝達されていない可能性がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	庁内情報システムを見る機会の少ない職員にも「心の健康相談」を実施していることを認識させ、早期の段階で臨床心理士に相談することを促し、メンタル不調に陥る職員を未然に防止する。	

#### 評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

#### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	045 働き方改革推進事業						
予算科目	01-020102-14			ワークライフバランス推進に要する経		担当部課	総務部ワークライフバランス推進課
市長公約	4	12	13			係名	
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市職員のワークライフバランス推進プラン					事業期間	毎年度
根拠法令等	次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法					SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう
							08働きがいも経済成長も

## 事業の概要

対象	職員
目的	すべての職員が持てる能力を最大限発揮できる環境を整え、ワークライフバランスを実現することで、より良い施策、行政サービスを市民に提供することにつなげる。
概要 (取組内容)	働きやすい職場環境等の整備や女性職員活躍を推進する。 働き方の見直しに重点をおき、職員の意識改革、時間外勤務の縮減、業務改善活動等に取り組む。 多様で柔軟な働き方の実現に向け、制度等の検討及び休暇等の利用促進を図る。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	16,188	9,877	9,877	9,877	
	決算額	(千円)	6,574	13,727	8,697	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,574	9,727	8,697	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	4,000	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	44,341	30,870	34,390	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	6.50	4.50	5.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	102.00	110.00	91.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

## 指標の推移

指標名	時間外勤務時間数 ( 時間 )					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	8.5	8.2	8.0	7.8	7.6	7.4
実績	9.7	7.7	7.6	0.0	0.0	0.0
指標の概要	職員一人当たり、一月あたりの時間数を毎年度、3%程度減少させる。					

2	指標名	年次休暇の取得率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	69.0	67.5	72.6	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	年次休暇（年間20日に対して）の取得率を90%以上にする。					
3	指標名	年10日以上の子次休暇の取得率 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	69.7	70.6	76.7	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	年10日以上の子次休暇の取得率100%を目指す。					
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	RPA/AI-OCRの利用促進については、概要セミナーを行ったほか、組織開発推進室と連携して新たにプログラミング的思考に着目した研修を次年度本格実施に向けて試行実施した。議事録AIには年初に全体説明会を行うほか、掲示板等で周知し、利用促進を図った。	
成果	RPA/AI-OCR導入部署は39部署、AI議事録の実施件数は300件超、DBソフト支援部署が5部署。テレワーク用専用端末50台及び自治体テレワークシステムアカウント205件の運用をおこなった。	
課題	業務	引き続き、人事異動等にかかわらず継続的にRPA/AI-OCRの活用を行うため研修体制の強化を行う必要がある。
	組織、予算等	現状の人員では、庁内のICTによる業務改善が限度であり、かつ市民向けの改善部署との連携が取れていないため、自治体DXを行う体制とはなっていない。
改善目標	本年度施行運用した研修については、研修担当部署と民間業者等と綿密に連携し、目的に適合する研修として本格実施できるよう調整を行うとともに、概要セミナーを活用し、導入部署内での自動化技術の活用を拡大する。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	